

## 無線従事者 第一級陸上特殊無線技士養成課程概要

### 【平成 29 年度 名古屋 第 2 回】

弊社では、総務省東海総合通信局の認定を受けて、下記の通り第一級陸上特殊無線技士の養成課程を公募にて実施いたします。

#### 記

#### 1. 第一級陸上特殊無線技士の資格操作範囲について

「第一級陸上特殊無線技士」の資格によって操作できるのは次の範囲です。

- (1) 陸上の無線局の多重無線設備の技術操作 (30 メガヘルツ以上、空中線電力 500 ワット以下)
- (2) 第二級陸上特殊無線技士の操作範囲

※「技術操作」とは、電波を発射・停止する操作とお考えください。

※「陸上の無線局」には、海岸局、海岸地球局、船舶局、船舶地球局、航空局、航空地球局、航空機局、航空機地球局、無線航行局、基幹放送局、アマチュア局は含まれません。

※ 陸上に開設した無線局 (海岸局、航空局、船上通信局、無線航行局及び海岸地球局並びに航空地球局 (航空機の安全運航・正常運行に関する通信を行うものを除く。)) の通信操作 (マイクで話す等) については、無線従事者資格を要しない簡易な操作とされています (電波法施行規則第 33 条)。

また、「第一級陸上特殊無線技士」の資格を取得することにより、操作範囲とは別に「登録検査等事業者」の「点検員」になることができます (登録検査等事業者にて点検員の登録が必要です)。

#### 2. 養成課程の科目及び時間数

養成課程の資格	授 業 科 目	授 業 時 間
第一級陸上特殊無線技士	無 線 工 学	4 8 時間
	法 規	6 時間

#### 3. 養成課程の実施期間・場所・募集定員

講義実施日：平成 30 年 1 月 27 日 (土)・28 日 (日)・2 月 3 日 (土)・4 日 (日)・  
2 月 10 日 (土)・11 日 (日)・17 日 (土)・18 日 (日)

合計 8 日間です。

講義実施時間：各日 10:00~18:50 (時間割詳細は、受付後案内させていただきます)

※ただし、講義初日 (1 月 27 日 (土)) は 9:30 に集合していただきます。

実施場所：愛知県名古屋市天白区

募集定員：24 名

#### 4. 養成課程の受講資格

当該養成課程は公募型養成課程（弊社が主催・募集して行う）とし、資格要件は次の通りです。

「学校教育法第1条に規定する高等学校若しくは中等教育学校(電気科又は電気通信科に限る。)を卒業した方又は次のいずれかに該当する方」

- (a) 学校教育法による、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校又は中等教育学校(高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した方。
- (b) 学校教育法による大学の電気通信に関する課程を有する学科を1年次以上修了した方又は高等専門学校の電気通信に関する課程を有する学科を3年次以上修了した方。
- (c) 入学資格を学校教育法第57条に規定する方とする修業年限が3年以上の学校((a)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した方。
- (d) 入学資格を学校教育法第90条に規定する方とする修業年限が1年以上の学校等((a)又は(b)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科等を卒業し又は修了した方。(「修了した方」については、1年次以上を修了した方に限る。)

※学歴の場合は、文部科学省所管の高校、高専、高卒の専門学校、大学が基本とお考えください。厚生労働省所管の学校（職業訓練校、ポリテクカレッジ等）、文部科学省所管以外の各種学校は含まれません。

※文部科学省所管の高校、高専、高卒の専門学校、大学において、学科名に「電気」「電子」「通信」が付く学科をご卒業の方は、「電気科」又は「電気通信科」でなくとも要件を満たす場合がありますので、事前に弊社までご相談ください。

- (e) 第二級総合無線通信士、第三級総合無線通信士、第一級海上無線通信士、第二級海上無線通信士、第四級海上無線通信士又は航空無線通信士の資格を有する方。

※「第三級海上」以外の「無線通信士」とお考えください。

- (f) 当該認定の申請前5年以内に通算して3年以上(学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した方((a)に掲げるものを除く。)及びこれに準ずる方の場合は、1年以上)多重無線設備の保守の補助又は搬送端局設備若しくは電力線搬送端局設備の保守に従事した経歴を有する方。  
この場合において、高等学校を卒業した方に準ずる方は、学校教育法第90条第1項に規定する大学に入学することができる者とする。

※実際に上記無線局の保守の補助、又は保守の業務を行った経歴の証明書（免許人の印が必要）をご提出いただく必要がございます。

- (g) 第一級陸上特殊無線技士の資格に係る選抜試験(当社にて実施)に合格した方。



※学歴の要件、「無線通信士」の資格（第三級海上を除く）、経歴をお持ちでない方は、弊社にて養成課程の事前実施する「選抜試験」に合格されれば受講が可能となります。

(次の5. 及び5 aをご参照ください)

5. 選抜試験について（学歴等をお持ちでない方）

養成課程の事前実施される選抜試験は、総務省の電波法関係審査基準の規定により、概ね次の内容で行われます（高等学校の電気科程度の内容とお考えください）。

- ・数学（代数、三角関数等）
- ・電気物理（静電気、磁気、フレミングの法則等）
- ・電気回路（直流回路、交流回路、共振等）
- ・電子回路（増幅作用、整流作用等）

※選抜試験を受験される方向けに、基礎から学ぶやさしい勉強会を行いますので、選抜試験を受験される方は必ず勉強会にご参加ください。

選抜試験勉強会 日時：平成30年1月6日（土）9:00～18:00（予定）

場所：愛知県名古屋市中天白区

選抜試験 日時：平成30年1月13日（土）12:30（集合）～15:00

場所：愛知県名古屋市中天白区

選抜追試験（選抜試験不合格の方） 日時：平成30年1月20日（土）12:30（集合）～15:00

※選抜試験及び選抜追試験は筆記で行われます。また、定規・電卓は使用できません。

5 a. 選抜試験合格と養成課程受講のパターンについて

弊社では、同時受講型の養成課程の他に、随時受講型（eラーニング）の養成課程を実施しております。このため、選抜試験に合格された方は複数の選択肢がございます。

①この養成課程の選抜試験（筆記）受験、及び合格後は養成課程受講を行う。

→選抜試験1月13日又は1月20日（追試）に合格後、1月27日からの養成課程を受講する。

②この養成課程の選抜試験（筆記）受験、及び合格後は弊社のeラーニング養成課程の受講を行う。

→選抜試験1月13日又は1月20日（追試）に合格後、弊社のeラーニングを受講する。

③過去に弊社の実施した選抜試験（筆記又はCBT）に合格された方が今回の養成課程受講を行う。

④今回は選抜試験（筆記）の受験のみを行う。

↓

①の方は、申込書の【選抜試験を受験し、合格後の講義も受講します】で○を選択してください。

②の方及び④の方は、申込書の【選抜試験のみ受験し、講義は受講しません】で○を選択してください。

③の方は、申込書の【選抜試験合格済】で○を選択し、通知書番号と有効期間を記載してください。

④の方は、申込書の【選抜試験のみ受験し、講義は受講しません】で○を選択してください。

6. 養成課程の受講にあたって

養成課程は、弊社が、養成人員、実施場所、授業及び修了試験の日程及び時間割、法令の定める教科書その他の細目について、総合通信局長の認定を受けて実施いたします。

養成課程は全時間、遅刻欠席なく出席いただくことが条件となります。どうしても遅刻欠席となった場合は、不足分の補講（1時間単位）を受講していただきます。

なお、修了試験は、養成課程の全授業時間を完全に受講した方でなければ、受験することができません。また、修了試験の実施場所は、受講の教室と同じです。

案内 H29-YN-2

7. 養成課程の料金（1名様あたり）

養成課程の料金（含：教科書・免許申請費用） 53,500 円

選抜試験の料金（該当の方のみ：勉強会及び試験） 5,000 円

8. 申込書、申込書送付先（弊社連絡先）

お申込は、WEB のリンクの申込書ファイル（EXCEL）をご使用いただき、FAX またはメールにてご送付いただきますようお願いいたします。

WEB ページ <http://www.b-tec.jp/rikutoku/1rikutoku.html>

【名古屋 第2回】の申込書をご使用願います。

FAX : 052-809-0206      メール : **1riku@b-tec.jp**

お問い合わせ) 株式会社ベータテック 1 陸特担当 宛て

TEL : 052-685-7909 (平日 9:30~18:00)

弊社住所（養成課程の実施場所です）

〒468-0058 愛知県名古屋市天白区植田西 2-110-1 株式会社ベータテック

9. 会社等でまとめてお申込みの場合

同一の会場及び回で、1社様では、基本的に2名まで同時に受付させていただきます。

1社様で3名以上受講をご希望の場合は、事前に弊社までご相談をお願い申し上げます。

以上